

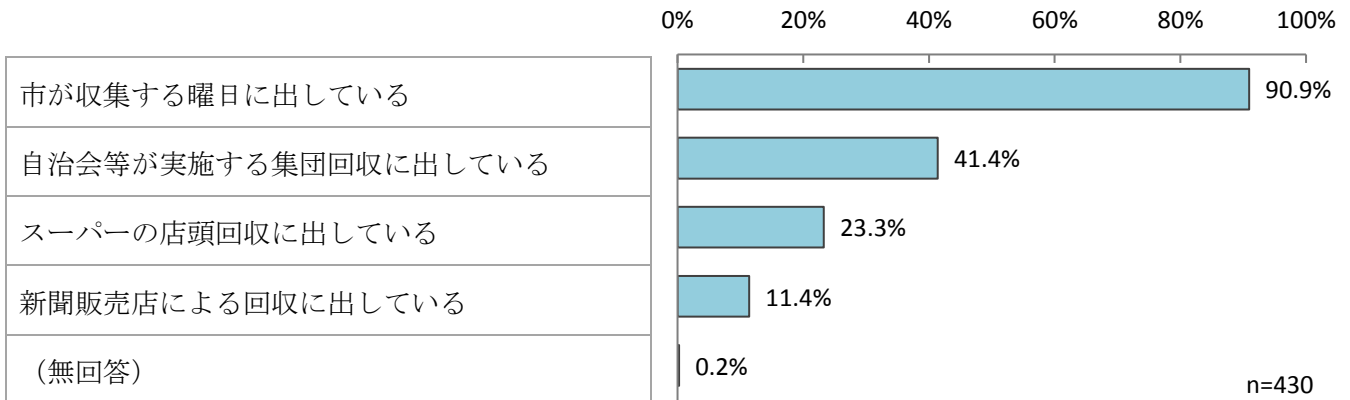
5. ごみ減量化と資源化について

(1) 資源物の排出方法

◇ 「市が収集する曜日に出している」が約9割

問20	あなたは、紙類（新聞、雑誌、段ボールなど）やびん缶、ペットボトル、トレイなどの資源物を排出するにあたり、主にどのような方法で出していますか。（〇はいくつでも）	n=430
1	市が収集する曜日に出している	90.9%
2	自治会等が実施する集団回収に出している	41.4%
3	スーパーの店頭回収に出している	23.3%
4	新聞販売店による回収に出している	11.4%
	（無回答）	0.2%

<図IV-5-1>全体



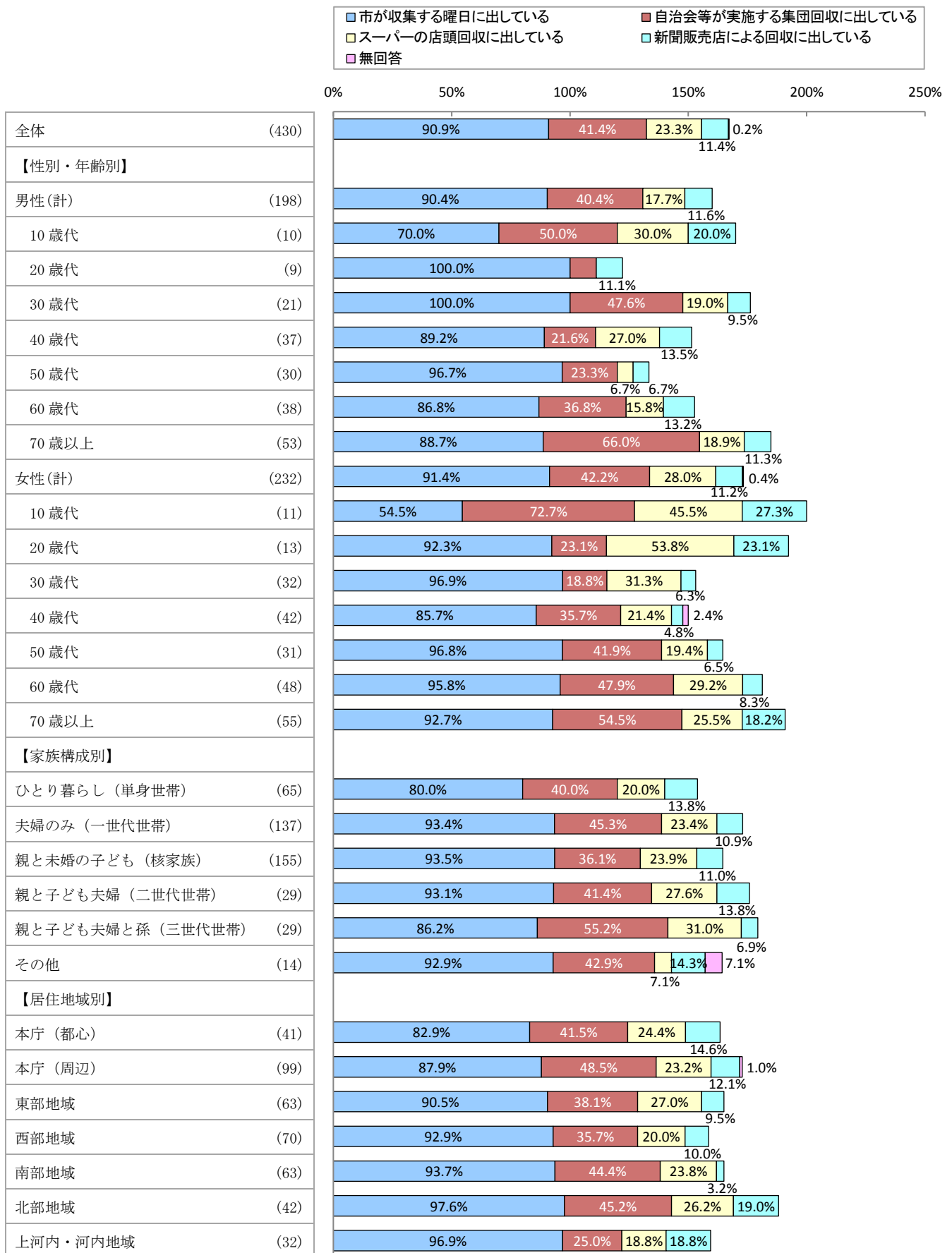
ごみ減量化と資源化については、資源物の排出方法は「市が収集する曜日に出している」が90.9%で最も高く、次いで「自治会等が実施する集団回収に出している」が41.4%であった。（図IV-5-1）

性別・年齢別でみると、「市が収集する曜日に出している」は<男性/20歳代><男性/30歳代>が100.0%で最も高かった。「自治会等が実施する集団回収に出している」は<女性/10歳代>が72.7%で最も高かった（図IV-5-2）

家族構成別でみると、「市が収集する曜日に出している」は<親と未婚の子ども（核家族）>は93.5%で最も高かった。「自治会等が実施する集団回収に出している」は<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が55.2%で最も高かった。（図IV-5-2）

居住地域別でみると、「市が収集する曜日に出している」は<北部地域>が97.6%で最も高かった。「自治会等が実施する集団回収に出している」は<本庁（周辺）>が48.5%で最も高かった。（図IV-5-2）

<図IV-5-2>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

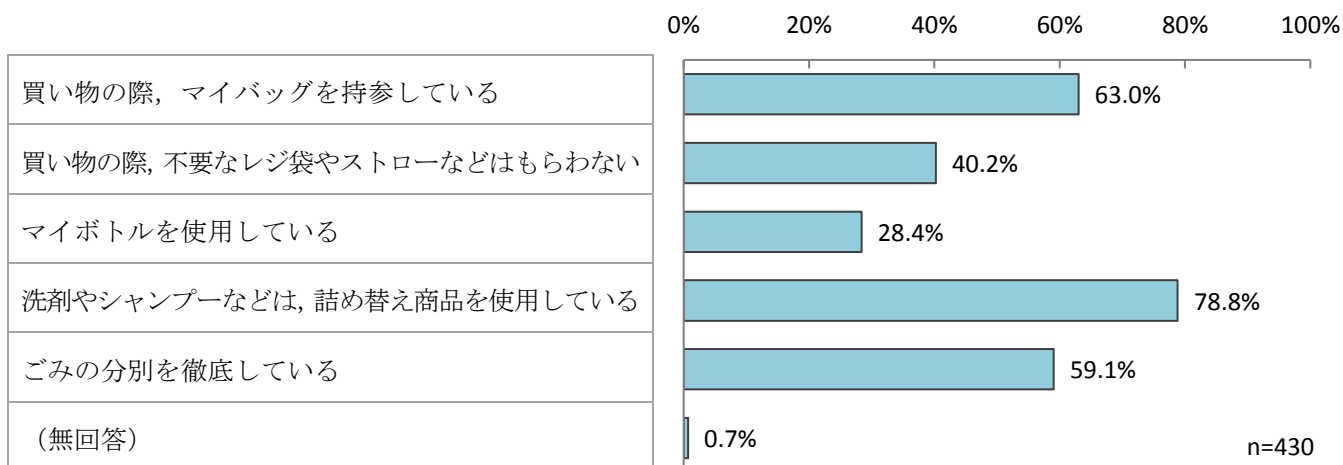


(2) 使い捨てプラスチックの削減のために実施していること

◇ 「洗剤やシャンプーなどは、詰め替え商品を使用している」が約8割

問2 1	あなたは、使い捨てプラスチック（レジ袋、ペットボトル、ストローなど）の削減に効果がある、次のような環境に配慮した行動を取っていますか。	(○はいくつでも)	
			n=430
1	買い物の際、マイバッグを持参している		63.0%
2	買い物の際、不要なレジ袋やストローなどはもらわない		40.2%
3	マイボトルを使用している		28.4%
4	洗剤やシャンプーなどは、詰め替え商品を使用している		78.8%
5	ごみの分別を徹底している		59.1%
	(無回答)		0.7%

<図IV-5-3>全体



使い捨てプラスチックの削減のために実施していることについては、「洗剤やシャンプーなどは、詰め替え商品を使用している」が78.8%で最も高く、次いで「買い物の際、マイバッグを持参している」が63.0%、「ごみの分別を徹底している」が59.1%と続いている。(図IV-5-3)

性別・年齢別で見ると、「洗剤やシャンプーなどは、詰め替え商品を使用している」は<女性/60歳代>が91.7%で最も高かった。「買い物の際、マイバッグを持参している」は<女性/60歳代>が81.3%で最も高かった(図IV-5-4)

家族構成別で見ると、「洗剤やシャンプーなどは、詰め替え商品を使用している」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が93.1%で最も高かった。「買い物の際、マイバッグを持参している」も<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が72.4%で最も高かった。(図IV-5-4)

居住地域別で見ると、「洗剤やシャンプーなどは、詰め替え商品を使用している」は<北部地域>が90.5%で最も高かった。「買い物の際、マイバッグを持参している」は<東部地域>が76.2%で最も高かった。(図IV-5-4)

<図IV-5-4>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

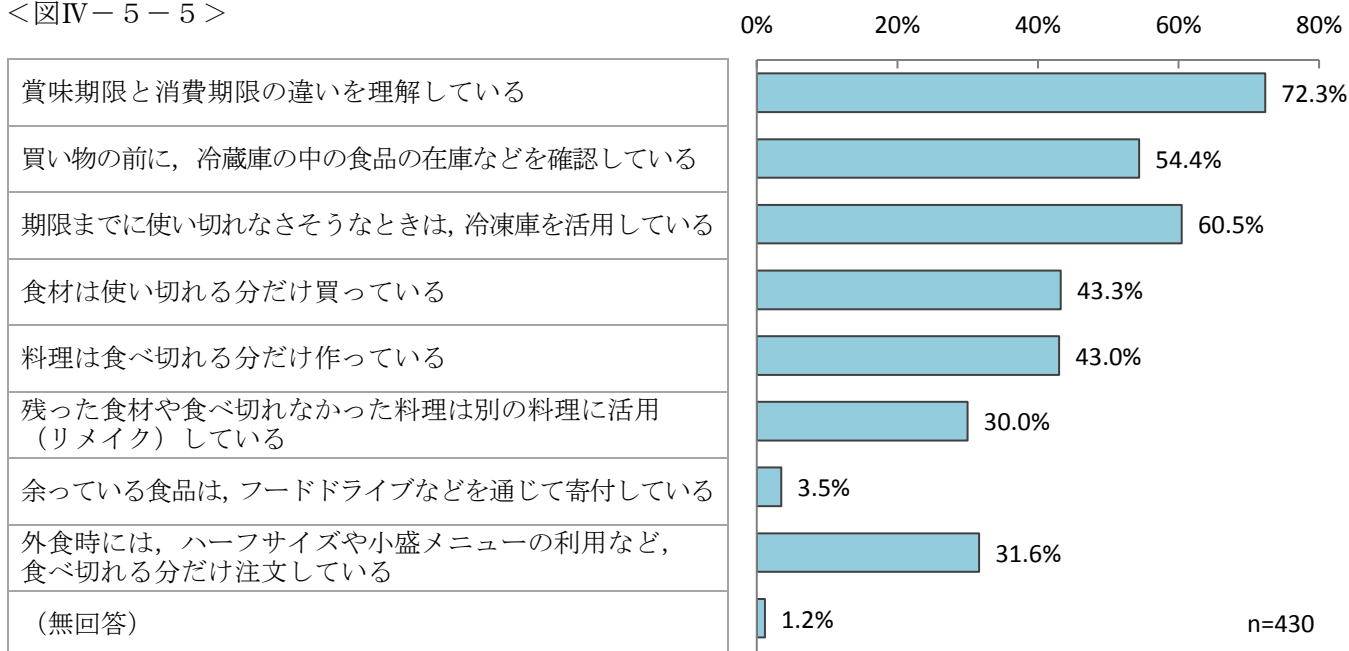


(3) 食品ロスの削減のために実施していること

◇ 「賞味期限と消費期限の違いを理解している」が7割強

問22	あなたは、食品ロス（まだ食べられるのに廃棄される食品）の削減に効果のある、次のような取組を実施していますか。	(〇はいくつでも)
		n=430
1	賞味期限と消費期限の違いを理解している	72.3%
2	買い物の前に、冷蔵庫の中の食品の在庫などを確認している	54.4%
3	期限までに使い切れなさそうなときは、冷凍庫を活用している	60.5%
4	食材は使い切れる分だけ買っている	43.3%
5	料理は食べ切れる分だけ作っている	43.0%
6	残った食材や食べ切れなかった料理は別の料理に活用（リメイク）している	30.0%
7	余っている食品は、フードドライブなどを通じて寄付している	3.5%
8	外出時には、ハーフサイズや小盛メニューの利用など、食べ切れる分だけ注文している	31.6%
	(無回答)	1.2%

<図IV-5-5>



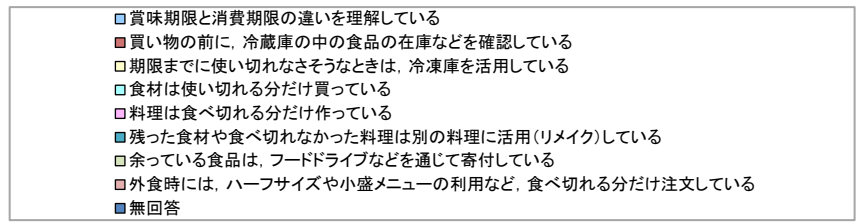
食品ロスの削減のために実施していることについては、「賞味期限と消費期限の違いを理解している」が72.3%で最も高く、次いで「期限までに使い切れなさそうなときは、冷凍庫を活用している」が60.5%、「買い物の前に、冷蔵庫の中の食品の在庫などを確認している」が54.4%と続いている。(図IV-5-5)

性別・年齢別でみると、「賞味期限と消費期限の違いを理解している」は<男性/50歳代>が86.7%で最も高かった。「期限までに使い切れなさそうなときは、冷凍庫を活用している」は<女性/60歳代>が79.2%で最も高かった(図IV-5-6)

家族構成別でみると、「賞味期限と消費期限の違いを理解している」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>は79.3%で最も高かった。「期限までに使い切れなさそうなときは、冷凍庫を活用している」は<親と未婚の子ども(核家族)>が64.5%で最も高かった。(図IV-5-6)

居住地域別でみると、「賞味期限と消費期限の違いを理解している」は<北部地域>が78.6%で最も高かった。「期限までに使い切れなさそうなときは、冷凍庫を活用している」は<本庁(周辺)>が68.7%で最も高かった。(図IV-5-6)

<図IV-5-6>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別



全体	(430)
【性別・年齢別】	
男性(計)	(198)
10歳代	(10)
20歳代	(9)
30歳代	(21)
40歳代	(37)
50歳代	(30)
60歳代	(38)
70歳以上	(53)
女性(計)	(232)
10歳代	(11)
20歳代	(13)
30歳代	(32)
40歳代	(42)
50歳代	(31)
60歳代	(48)
70歳以上	(55)
【家族構成別】	
ひとり暮らし(単身世帯)	(65)
夫婦のみ(一世帯世帯)	(137)
親と未婚の子ども(核家族)	(155)
親と子ども夫婦(二世帯世帯)	(29)
親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)	(29)
その他	(14)
【居住地域別】	
本庁(都心)	(41)
本庁(周辺)	(99)
東部地域	(63)
西部地域	(70)
南部地域	(63)
北部地域	(42)
上河内・河内地域	(32)

